



# 堺・世界遺産魅力創造 ロードマップ ～未来へつなぐ古墳の聖地へ～

令和2年3月  
堺市

第1章	はじめに	・・・ 2
-----	------	-------

---

第2章	ロードマップの基本的事項	・・・ 4
-----	--------------	-------

---

第3章	将来像とエリアコンセプト	・・・ 9
-----	--------------	-------

---

第4章	主な取組のロードマップ	・・・ 15
-----	-------------	--------

---

# 第1章 はじめに

---

この章では、世界遺産登録された百舌鳥・古市古墳群の価値や大仙公園の魅力を示します。

## ■世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の価値と魅力

- 古墳築造の最盛期であった4世紀後半から5世紀後半にかけて、大陸に向かう航路の発着点であった大阪湾に接する台地上に築造。
- 東アジアの墳墓の典型であり、日本各地に16万基以上存在する古墳及び古墳時代の文化の代表。
- 世界でも独特な墳長500メートル近くに達する前方後円墳から20メートル台の円墳・方墳まで、多様な形と規模の古墳により構成され、古墳時代の社会政治的な構造を示す稀有な物証。
- 幾何学的にデザインされ、埴輪等で飾り立てられる等、高度に洗練された葬送体系を証明するもの。
- 1600年にもわたり受け継がれ、住民運動によって開発圧力から保護された古墳が含まれる等、地域社会に根差している。
- 2019年7月、日本で23番目、大阪では初の世界遺産として登録。

## ■大仙公園が持つ魅力

- 世界最大級の墳墓である仁徳天皇陵古墳に隣接して広がる、堺市のシンボルパーク。公園内にも世界遺産に登録された古墳が点在しており、百舌鳥古墳群と共存した公園となっている。
- 大仙公園には、桜をはじめとした四季折々の美しさを見せる樹木や広大な芝生広場、中央図書館等があり、市民の憩いの場所となっている。
- また、堺の歴史、美術、考古、民俗を展示する堺市博物館、泉北丘陵や石津川の清流、海外の交易拠点として栄えた堺を見立てる歴史文化を取り入れた日本庭園があり、市民はもちろん、市外からの観光客も楽しめる公園となっている。

## 第2章 ロードマップの基本的事項

---

この章では、ロードマップ策定の趣旨や期間、対象となるエリアを示します。

## ロードマップ策定の趣旨

- 百舌鳥・古市古墳群は、いたすけ古墳の保存運動や日々の清掃活動等、地域住民のたゆまぬ活動により現在まで受け継がれてきた。
- 百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録の実現により堺に注目が集まり、多くの来訪者が堺を訪れている。
- この機会を捉え、貴重な歴史的資源である古墳群を保全し、価値や魅力を未来へ継承、発信するとともに、集客力の高さを活かし、さらなる来訪者を招くことで絶え間なく人々が訪れ交流する拠点としていく必要がある。
- JR阪和線や南海高野線の鉄道駅に隣接している立地を活かし、大阪市内や関西国際空港、高野山等から多くの人を呼び込み、この集客効果を堺東周辺エリアや環濠エリアへ波及していく。
- 世界最大級の墳墓である仁徳天皇陵古墳及び大仙公園周辺を、日本の古墳時代を代表する百舌鳥・古市古墳群の玄関口として、地域住民とともに全国約16万基ある古墳の聖地としていく。

## ロードマップの位置づけ

- 世界遺産登録効果による来訪者の増加を継続的なものとするためには、来訪者の満足度を高める短期的な取組が必要。
- また、この大仙公園と周辺のエリアを堺市の交流拠点としていくためには、博物館や図書館等、堺の貴重な歴史・文化資源の魅力を伝える機能のあり方の検討等、中長期的な展望を描いた中で方向性を決定していくことが必要。
- 本ロードマップは、この考え方を基に、大仙公園と周辺のエリアの魅力創造に向け、短期的に実施する主な取組と中長期的に検討を進める項目を盛り込んだものとする。
- 短期的取組は毎年度の進捗状況を踏まえ取組内容を検証しながら進めるとともに、中長期的展望は今後取組を具体化していく中で議論を深めていく。

短期的取組  
(2025年度を目途)

百舌鳥・古市古墳群の価値や魅力を伝える機能や眺望機能、飲食・物販機能等、来訪者の満足度を高めるため短期的に実施する主な取組

中長期的展望  
(2030年度を目途)

博物館や図書館のあり方等、中長期的に検討を進める項目

## ロードマップの期間

### 2030年度を展望し、短期的取組は2020年度から2025年度までを期間とする

- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会、ワールドマスタースゲームズ2021関西、2025年大阪・関西万博等、今後世界的なイベントが予定されており、関西にさらに多くの来訪者が見込まれる。
- これらを好機と捉え、多くの来訪者を本市に誘導し、百舌鳥古墳群が有する雄大さを体感いただくことが重要。
- 世界遺産が有する価値や魅力を未来へと継承していくため、引き続き、古墳群の適切な保全に取り組んでいく。
- 大仙公園には、堺市博物館や中央図書館等、開館から長い期間が経過している施設が存在し、これらの施設の将来的な方向性も検討する必要がある。
- 本ロードマップは、ロードマップの位置づけに基づき、2030年度を展望し、2025年度までの主な取組を示すものとする。



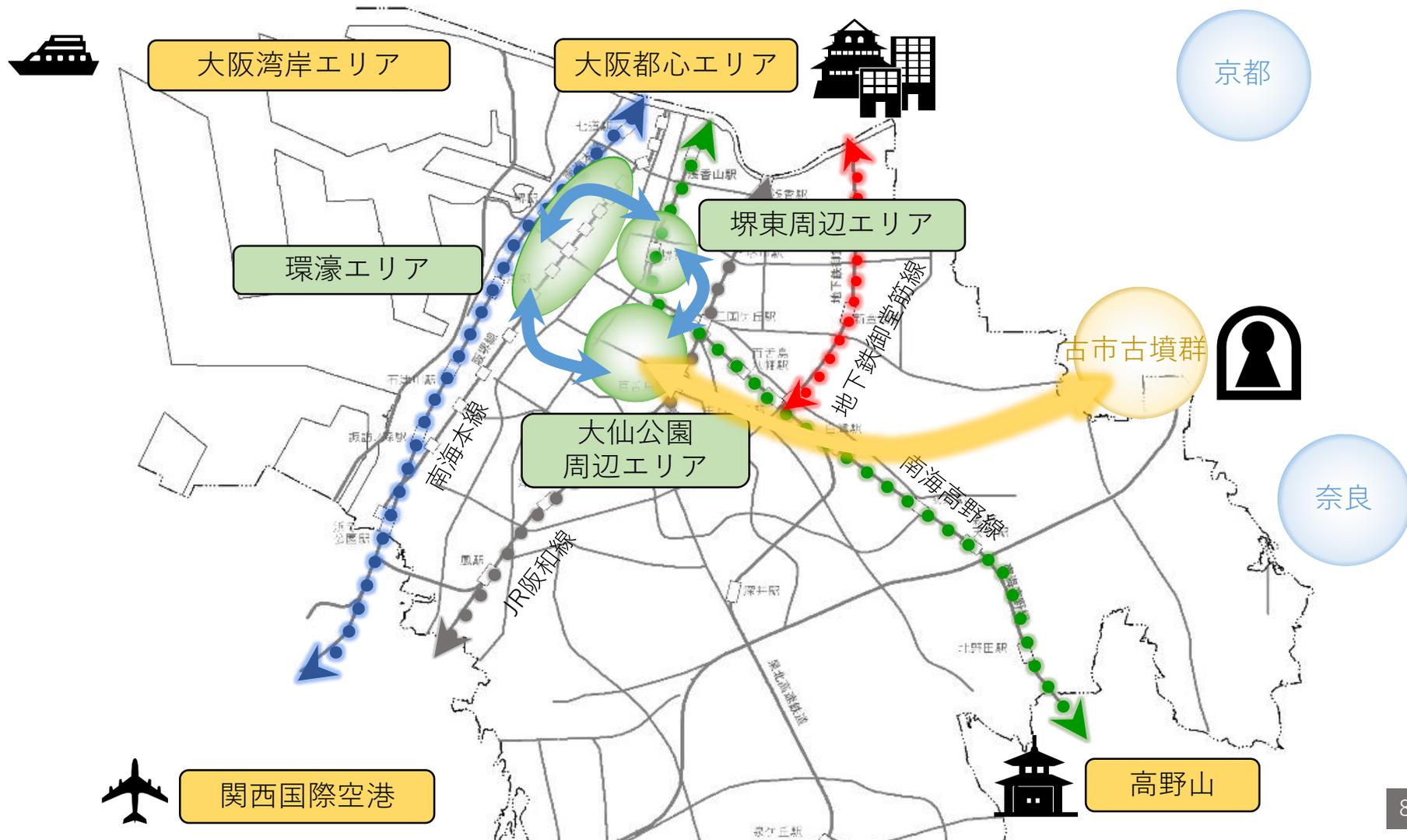
## 対象エリア

- 世界最大級の墳墓である仁徳天皇陵古墳をはじめ、大仙公園、JR百舌鳥駅とその周辺エリア（以下、「大仙公園周辺エリア」という。）を主な対象とする。



## 広域連携

- 国や大阪府、羽曳野市、藤井寺市との連携により、百舌鳥・古市古墳群が有する価値や魅力を未来へ継承、発信する。
- 大阪市や関西国際空港に近接し、世界遺産である高野山と鉄道で結ばれている地の利を活かし、大仙公園周辺エリアに多くの来訪者を誘導し、その効果を市内へ波及させる。



## 第3章 将来像とエリアコンセプト

---

この章では、大仙公園周辺エリアの将来像とコンセプト、コンセプトに基づく方策について整理します。

## 大仙公園周辺エリアの将来像

未来へ継承していく全国16万基の古墳の聖地

### 3つのエリアコンセプト

将来像の実現に向けて、3つのエリアコンセプトを設定。



百舌鳥古墳群の保全・継承と世界遺産の価値や魅力を発信するエリア



国内外の多くの来訪者にとって魅力ある、おもてなし環境の整ったエリア



民間の経営感覚を活かしたエリア運営

## エリアコンセプトに基づく方策



### 百舌鳥古墳群の保全・継承と世界遺産の価値や魅力を発信するエリア

- 1600年にわたり保全されてきた古墳群を適切に後世に継承していくとともに、世界遺産の価値や魅力を堺の歴史文化とともに内外に発信

### ■コンセプトの実現に向けた考え方

- 地域社会に根差しながら1600年もの間、受け継がれてきた貴重な資産である古墳群を引き続き未来へ継承していく。
- そのためには、来訪者や市民等あらゆる方々に対し、古墳関連行事等を通じた価値の伝達や、大仙公園周辺エリアにおいて、古墳群が有する価値を市民や国内外からの来訪者に伝えていく。
- また、古墳群を未来へ継承していくためには、古墳群と調和した景観形成、周辺環境の適切な管理を行っていく。

### ■実現に向けた方策

- 古墳の保存・継承に向けた価値の伝達  
( (仮称) 百舌鳥ビジターセンターの設置、博物館の充実、 (仮称) 堺ミュージアムの整備 )
- 保存・継承に向けた機運醸成 ( (仮称) 古墳サミット、保存管理計画の改訂等 )

## エリアコンセプトに基づく方策



### 国内外の多くの来訪者にとって魅力ある、おもてなし環境の整ったエリア

- 関西国際空港や大阪市内の各拠点（なんば、夢洲・咲洲等）と近接した地の利を活かし、関西の世界遺産との連携を強化し、継続的に国内外から人々が訪れ、交流し、新たな価値を創出
- これら効果を堺東周辺エリアや環濠都市エリアに波及させ、市内全域の活性化につなげる

### ■コンセプトの実現に向けた考え方

- 世界遺産登録の実現により、国内外を問わず多くの来訪者が大仙公園周辺エリアを訪れている。
- このエリアの魅力を上向きし、さらなる誘客へつなげるためには、来訪者が満足し、また訪れたいと思う仕組みを構築する。
- 来訪者の誰もが古墳の雄大さを感じることができる機能や、快適に大仙公園周辺エリアを周遊するための多言語化やWi-Fi等の環境を整備する。
- さらに、公園を訪れた人や古墳の価値に触れた来訪者が、寛げる環境の整備する。
- 大仙公園は、古墳を目的とした来訪者だけでなく、市民や近郊の住民が公園の持つ広大な緑を目的に訪れる。これらの方を対象に世界遺産に囲まれた緑の中で憩え、触れ合える環境づくりやこれらを保つための質の高い維持管理を行っていく。
- 堺東周辺エリアや環濠エリア等へのアクセスの手法を確立し、大仙公園周辺エリアの集客効果の波及をめざす。

### ■実現に向けた方策

- 来訪者が古墳の雄大さを体感できる機能の充実（ガス気球の運行）
- 来訪者が憩う飲食・物販機能の充実（いこいの広場、現大仙公園事務所建物、収塚古墳広場での整備）
- 日本の様式美を感じる日本庭園のさらなる活用（日本庭園の魅力向上）
- 公園の自然を活かした憩い・ふれあい環境の充実（芝生広場の利活用、都市緑化センターのさらなる活用）
- 世界遺産の発信力を活かした誘客促進（大仙公園周辺エリア等への誘客促進）
- 堺東周辺エリアや環濠エリア、市内拠点施設・駅等からの交通アクセス強化・充実等（市内や広域の周遊促進に向けたアクセス整備）
- JR百舌鳥駅周辺のおもてなし環境整備（JR百舌鳥駅前広場等の整備）
- 堺が有する歴史・文化の魅力発信（（仮称）堺ミュージアムの整備、中央図書館の再整備）

## エリアコンセプトに基づく方策



### 民間の経営感覚を活かしたエリア運営

- 公園運営や今後導入する集客機能等について、民間サウンディング等を通じ、可能な限り民間活力の導入を図る方策を検討
- 併せて、大仙公園周辺エリアの施設の将来的な一体運営等についても検討し、より効果的・効率的なエリア運営を図る

### ■コンセプトの実現に向けた考え方

- 大仙公園周辺エリアが有する魅力の向上やさらなるサービスの質の向上に向けては、行政だけでなく積極的な民間企業等との協力関係が重要。
- 各施設の整備や運営については、民間資金の活用や適切な時期での民間活力の導入を検討していく。
- 民間活力の導入にあたっては、一つの取組にとどまらず、それぞれ取組の関連性を検討し、複数の取組に対して一括した民間活力の導入等、効果的・効率的な運営の視点をもって進めていく。
- 将来的には、大仙公園周辺エリア全体の民間事業者による一体的運営を視野に入れ検討していく。

### ■実現に向けた方策

- 各施設の民間活力導入に向けた検討
- 大仙公園のパークマネジメント導入に向けた検討

## 2030年度に向けた中長期的な展望（今後の実現に向けて検討を進める項目）

### エリアコンセプト

百舌鳥古墳群の保全・継承と世界遺産の価値や魅力を発信するエリア

国内外の多くの来訪者にとって魅力ある、おもてなし環境の整ったエリア

民間の経営感覚を活かしたエリア運営

### 中長期（2030年度）の展望

- JR百舌鳥駅から拝所まで静かで癒やかな空間を創出する。
- 旧大阪女子大学跡地を候補に、（仮称）堺ミュージアムの整備を進めることにより来訪者に古墳群の価値や魅力を伝える。

- （仮称）堺ミュージアムにミュシャ作品等、美術作品の展示機能の整備を進める。
- 図書館の役割・機能を整理し、中央図書館の再整備を進める。
- これらにより、堺が有する歴史・文化資源を一体的に発信し、集客力を高める。

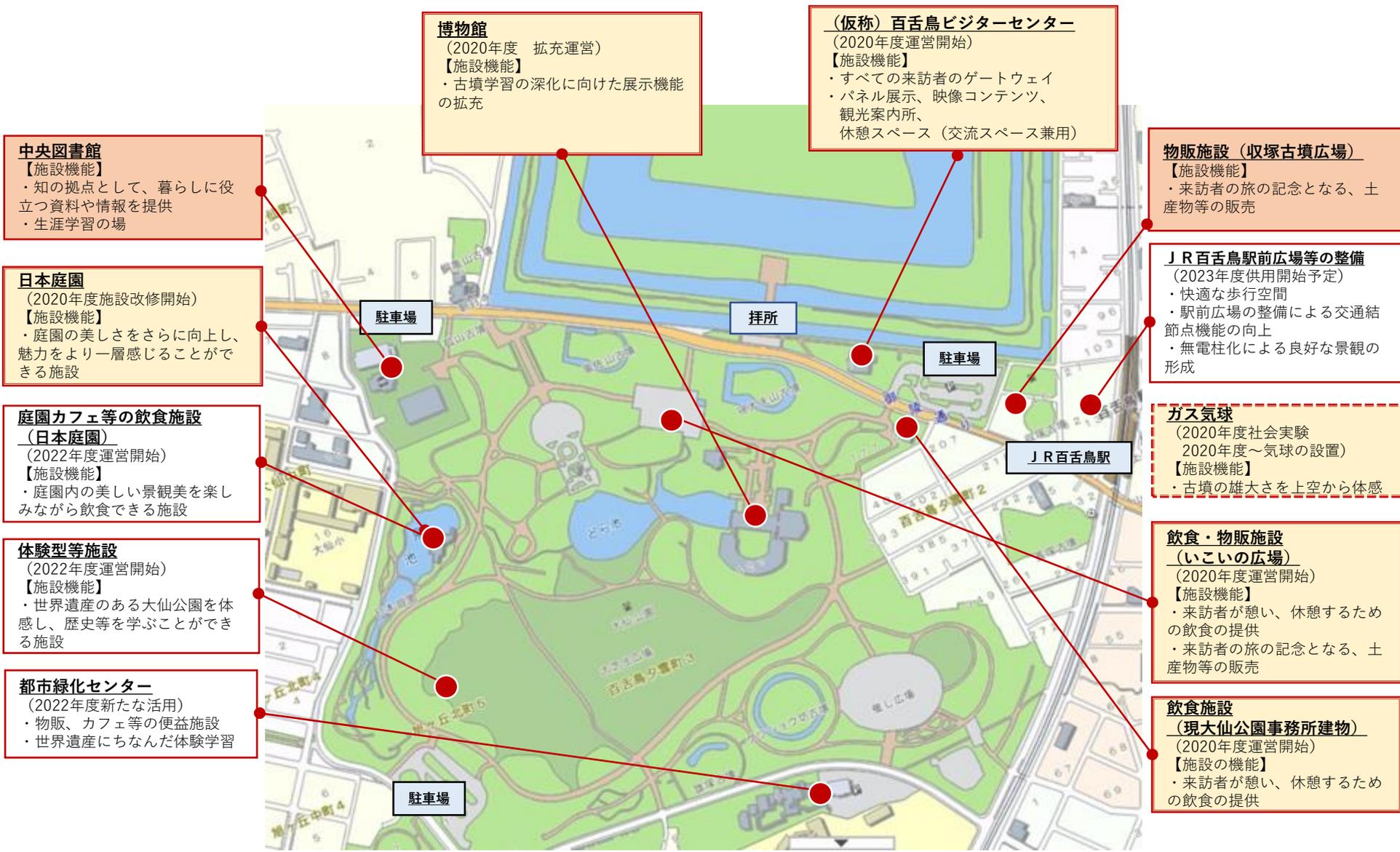
- （仮称）堺ミュージアム等の施設を含めた大仙公園周辺エリアに民間活力を導入し、さらに魅力を向上させる。

## 第4章 主な取組のロードマップ

---

この章では、前章で示したコンセプト実現に向けた方策のうち、主な取組のロードマップを示します。

# 大仙公園周辺エリア 2025年度の主な機能・施設配置



※大仙公園周辺エリアの取組については、遺産影響評価が必要となる可能性がある

## (仮称) 堺ミュージアム

### 【施設機能】

- ・博物館
- ・ミュシャ作品・ヒストリックカー等
- 堺市所蔵品展示機能
- ・飲食、物販

## 古墳群関連資料閲覧機能

### 【施設機能】

- ・古墳関連資料や歴史の文献、郷土資料の閲覧等

## (仮称) 百舌鳥ビジターセンター

## ゲートウェイ空間の創出

- ・JR百舌鳥駅から拝所まで静かで  
豊かなゲートウェイ空間を創出

JR百舌鳥駅

JR百舌鳥駅前広場

日本庭園

飲食・物販施設

飲食施設

ガス気球の運行

庭園カフェ等

## 次世代モビリティによる周遊

- ・次世代モビリティを活用し、園内や堺東周辺  
エリア、環濠エリアを周遊

体験型等施設

都市緑化センター

駐車場



## 百舌鳥古墳群の保全・継承と世界遺産の価値や魅力を発信するエリア

(年度)



### ※施設の整備・運営の考え方

民間資金の活用や適切な時期での民間活力の導入を進め、効果的・効率的な施設整備・運営と質の高いサービスの提供を行うとともに将来的な一体運営を視野に入れ検討を進める。

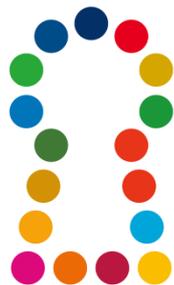


## 国内外の多くの来訪者にとって魅力ある、おもてなし環境の整ったエリア

(年度)

方策	2020	2021	2022	2023	2024	2025
来訪者が古墳の雄大さを体感できる機能の充実	ガス気球の運行*					
	社会実験効果検証 .....> 社会実験を踏まえての気球の設置					
来訪者が憩う飲食・物販機能の充実	いこいの広場*					
	民間事業者による飲食・物販施設の整備・運営 .....> 民間事業者が整備した各施設の運営					
	現大仙公園事務所建物*					
	民間事業者による飲食施設の整備・運営 .....> 民間事業者が整備した各施設の運営					
日本の様式美を感じる日本庭園のさらなる活用	収塚古墳広場*					
	民間事業者の再選定 .....> 民間事業者による運営					
日本の様式美を感じる日本庭園のさらなる活用	日本庭園の魅力向上*					
	飲食施設整備に向けた事業者ヒアリング、実証実験 .....> 飲食施設の整備・運営開始 .....>					
公園の自然を活かした憩い・ふれあい環境の充実	芝生広場の利活用*					
	体験型等施設サウンディング .....> 体験型等施設募集開始 .....> 体験型等施設の事業者公募・開始 .....> 日本庭園・体験型等施設・都市緑化センターの一体管理					
	都市緑化センターのさらなる活用*					
	都市緑化センター運営見直し .....> 都市緑化センター管理事業者公募準備 .....> 都市緑化センター管理事業者公募、設計・再整備、運営開始 .....>					





笑顔あふれる 住み続けたいまち

# SDGs未来都市・堺

Sustainable Development Goals Future City, SAKAI CITY

令和2年3月

堺市市長公室企画部

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号

TEL 072-222-0380 FAX 072-222-9694

E-mail [seisaku@city.sakai.lg.jp](mailto:seisaku@city.sakai.lg.jp)

堺市行政資料番号 1-L1-20-0064